

日本プラスチック工業株式会社 本社工場

1 工場概要

- ▶ 住所 本社・本社工場：愛知県小牧市大字東田中字西田100番地1
- ▶ 従業員数 本社・本社工場：85名(その他再雇用社員3名、パート・アルバイト8名、協力会社23名) 合計119名
- ▶ 敷地面積 本社・本社工場：25,767㎡

2 事業概要

▶ 事業内容

- ・プラスチック製品の製造加工ならびに販売
- ・管工事の請負施工に関する業務
- ・上記に付帯する一切の業務



▶ 主要製品

本社工場

- ・各種硬質塩化ビニル管
- ・下水道用硬質塩化ビニル管
- ・水道用ポリエチレン二層管
- ・下水道推進工法用硬質塩化ビニル管
- ・硬質塩化ビニル管用継手
- ・ABS、PP、塩ビ等コアパイプ



3 工場変遷

- | | |
|-------------|---|
| 昭和27年11月26日 | 名古屋市に会社設立。軟質塩化ビニルシート、硬質塩化ビニル管用コンパウンド、各種押出成形品の製造販売を開始。 |
| 昭和31年 8月 | 硬質塩化ビニル管製造販売を開始。 |
| 昭和36年10月 | 本社及び工場を小牧市に移転。 |
| 昭和39年 7月 | 硬質塩化ビニルシートの製造販売を開始。 |
| 昭和56年 4月 | ポリエチレン管の製造販売を開始。 |
| 平成 2年10月 | 岐阜県美濃市に工場建設し、シートの生産を本社から移設して生産開始。 |
| 平成10年12月 | ISO9002審査登録 |
| 平成12年10月 | ISO14001審査登録 |
| 平成14年12月 | ISO9001:2000移行認証取得 |
| 平成17年 5月 | ABS製コアパイプ(巻き芯)の製造販売を開始。 |
| 平成17年 7月 | ISO14001:2004移行認証取得 |
| 平成21年 7月 | ISO9001:2008移行認証取得 |

4 環境方針

▶ ISO環境方針

日本プラスチック工業株式会社本社、本社工場及び美濃工場は、地球環境保全が人類共通の課題であり、企業の責務であることを認識し、環境保全に万全の配慮と不断の努力を行います。

- 1) 硬質塩化ビニル管及び2次加工品の製造、ポリエチレン等のプラスチック管の製造、ポリスチレン・ポリエチレン等のプラスチックシート及びプレートの製造における生産活動で、環境マネジメントシステムを構築し、継続的維持、改善及び汚染の予防を図り、以下の環境保全に努めます。
 - ① 廃棄物のリサイクル化及び減量化を推進します。
 - ② 設備や機器の高効率化と生産プロセスの改善により電力等の省エネルギーを推進します。
 - ③ 技術的、経済的に可能な範囲で騒音レベルの改善及び水質汚濁防止を推進します。上記の環境目的及び目標を定めると共に、それらの達成のため環境マネジメントプログラムを作成し、その推進に当社で働く全ての人が一丸となって努力します。
- 2) 環境関連法、条例及び当社が同意したその他の要求事項を順守することに努めます。
- 3) 地域との調和を図ると共に、地域の環境保全活動に積極的に参加します。
 - ・この環境方針は、教育及び啓蒙活動を行い、当社で働く全ての人に周知徹底を図ります。
 - ・この環境方針は、一般の人でも入手できます。

平成22年7月1日
日本プラスチック工業株式会社
代表取締役社長
住田和正

▶ ISO認証取得状況

- 平成12年10月 ISO14001(財)日本規格協会に審査登録(JSAE276)
- 平成13年10月 ISO14001第1回定期維持審査実施
- 平成14年10月 ISO14001第2回定期維持審査実施
- 平成15年 9月 ISO14001第1回更新審査実施
- 平成16年 7月 ISO9001第2回更新審査、ISO14001第1回-1定期維持審査(Q/E複合審査)実施
- 平成17年 7月 ISO9001第2回-1定期維持審査、ISO14001第1回-2定期維持審査(Q/E複合審査)実施
- 平成18年 7月 ISO9001第2回-2定期維持審査、ISO14001第2回更新審査(Q/E複合審査)実施
- 平成19年 7月 ISO9001第3回更新審査、ISO14001第2回-1定期維持審査(Q/E複合審査)実施
- 平成20年 7月 ISO9001第3回-1定期維持審査、ISO14001第2回-2定期維持審査(Q/E複合審査)実施
- 平成21年 7月 ISO9001第4回更新審査、ISO14001第3回更新審査(Q/E複合審査)実施
- 平成22年 7月 ISO9001第4回-1定期維持審査、ISO14001第3回-1定期維持審査(Q/E複合審査)実施

5 新・環境保全中期計画 目標及び実績

| 課題 | テーマ | 管理指標 | 基準年度 | 2009年度 | | | |
|-----------|--------------|----------|------|--------|------|------|----------------|
| | | | | 目標 | 実績 | 自己評価 | 目標未達の理由 |
| 地球温暖化防止 | CO2の削減 | CO2排出原単位 | 2008 | ▲1% | 30% | × | 生産金額減少のため |
| | | CO2排出量 | 2008 | ▲1% | 6% | × | 生産量増加のため |
| | 物流のCO2削減 | CO2排出原単位 | 2008 | ▲1% | 37% | × | 生産金額減少のため |
| 循環型社会の形成 | 廃棄物の削減 | 排出原単位 | 2008 | ▲2% | ▲5% | ○ | |
| | ゼロ・エミッション | 埋立比率 | — | 0.5%以下 | 0.7% | × | 僅かに埋立廃棄物の削減できず |
| | 水資源の節約 | 水使用量原単位 | 2008 | ▲1% | 0.2% | × | 生産金額減少のため |
| 有害化学物質の削減 | PRTR法対象物質の削減 | 排出移動原単位 | 2008 | ▲2% | ▲39% | ◎ | |

※自己評価の基準 ◎:目標超過達成 ○:目標達成 ×:目標未達成

注)新・環境保全中期計画のCO2排出量実績値の算定の際は、2008年度の単位発熱量及びCO2排出係数を使用しています。

6 環境会計

① 環境投資

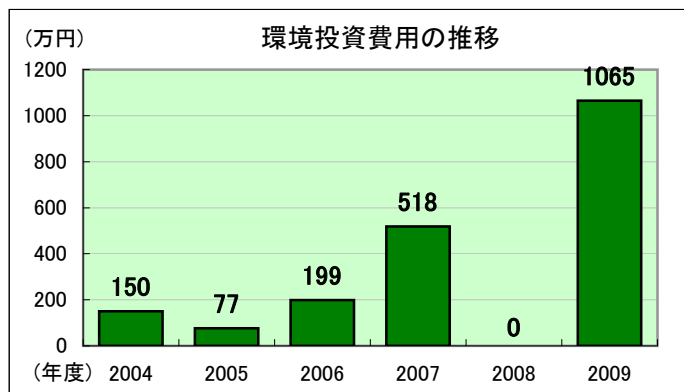
2009年度:1065万円

ISO認証取得時(2000、2001)に環境投資を多く行いましたが、2003年以降は横ばい状況にありました。

2007年度は製品倉庫の防じん対策として、シャッター設置を実施し、久しぶりに大きな環境関連の投資を行いました。

2008年度の環境関連投資はありませんでした。

2009年度は、省エネ型コンプレッサーに更新、押出機用真空ポンプ入替(電気容量ダウン)生産ラインの塩ビ用粉砕機入替(電気容量ダウン)、粉砕場防音壁設置などを実施しました。



日本プラスチック工業株式会社 本社工場

② 環境保全効果

| 効果の内容 | 効果 | 2008年度 | 2009年度 | 効果 | 対前年度比 |
|---------------------------|------------------------|---------|---------|----------|--------|
| 事業活動に投入する資源に関する効果 | エネルギー使用量(熱換算GJ) | 99,029 | 105,785 | 6,756 | 106.8% |
| | 水使用量(m ³) | 131,181 | 107,810 | ▲ 23,371 | 82.2% |
| 事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果 | CO ₂ 排出量(t) | 4,848 | 5,018 | 170 | 103.5% |
| | SO _x 排出量(t) | — | — | — | — |
| | NO _x 排出量(t) | — | — | — | — |
| | ばいじん排出量(t) | — | — | — | — |
| | PRTR対象物質排出・移動量(t) | 0.012 | 0.007 | ▲ 0.005 | 58.3% |
| | 廃棄物排出量(t) | 26.0 | 8.3 | ▲ 17.7 | 31.9% |
| | 廃棄物埋立量(t) | 2.0 | 2.1 | 0.1 | 105.0% |

③ 経済効果

2009年度: 736万円

2005年度(平成17年)下期から生産時に発生する塩ビ廃棄物を有価物化を開始しました。

2008年度(平成20年)廃油(機械油)、段ボール類の有価物化を開始しました。

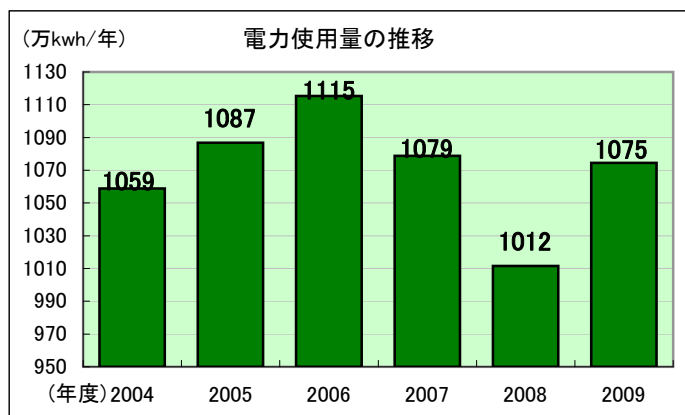
2009年度(平成21年度)PPバンド、PEビニールの有価物化を開始しました。

| 分類 | 内容 | 年間効果 |
|--------------|---|--------|
| 省エネルギー対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・工場エア用コンプレッサーを省エネ型に更新 ・押出機用真空ポンプ入替えによるモータ容量ダウン効果 ・冷却水用ポンプ容量ダウンによる電力削減 ・冷却水設定温度変更による冷凍機稼働時間削減 ・その他 | 463 万円 |
| ゼロ・エミッション化対策 | 廃棄物の有価物化 | 273 万円 |
| 合計 | | 736 万円 |

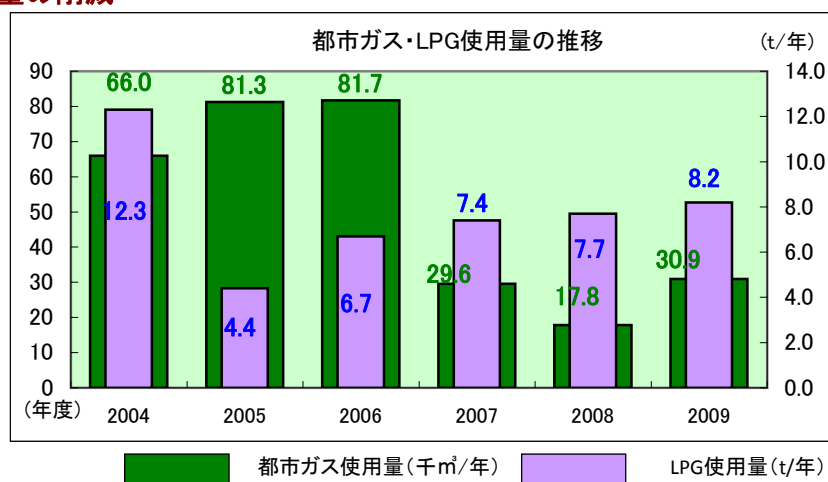
日本プラスチック工業株式会社 本社工場

7 環境パフォーマンス

- ① 地球温暖化の防止
省エネルギー活動
電力使用量の削減

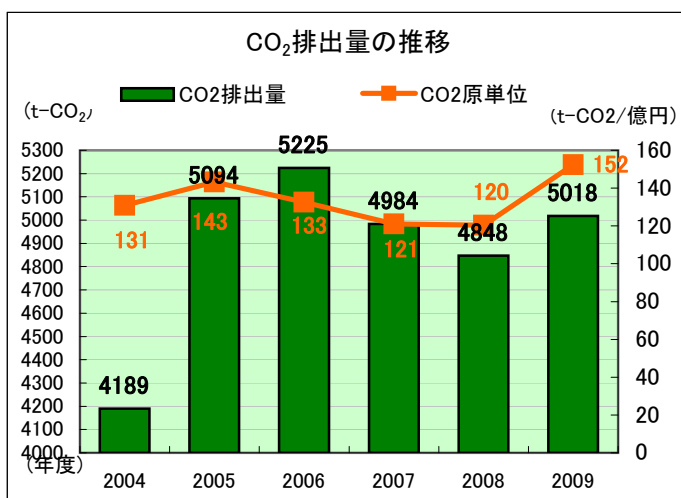


都市ガス・LPG使用量の削減



CO₂排出量の削減

※ 平成22(2010)年度の目標値は、平成21(2009)年度を基準として、1%削減する目標で行う。

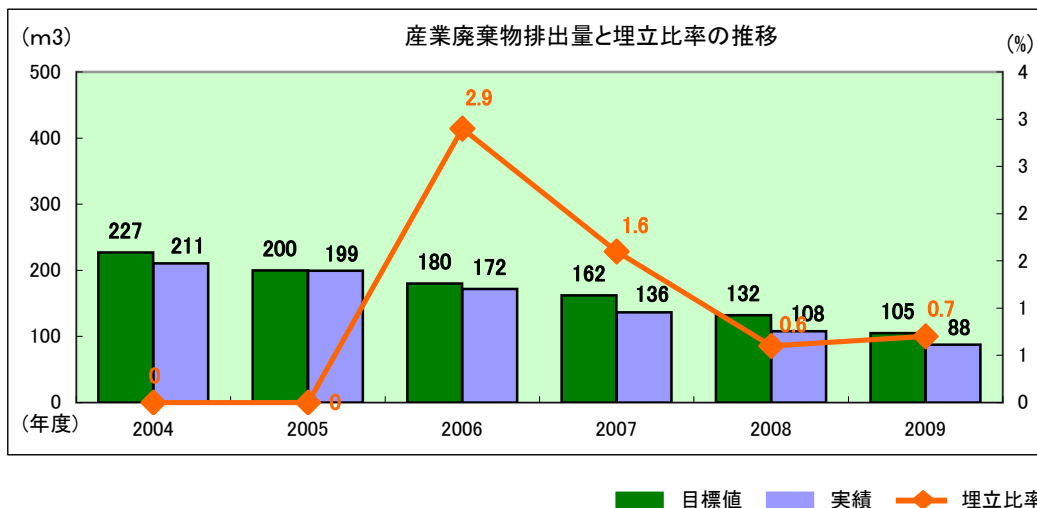


日本プラスチック工業株式会社 本社工場

② 循環型社会の形成

廃棄物排出量の削減

2005年度より塩ビパイプ屑の有価物化を実施しており、年々減少傾向にあります。



注: 2004～2005年度 埋立比率(%) = 直接埋立量 ÷ 廃棄物排出量

2006～2009年度 埋立比率(%) = (直接埋立量 + 中間処理後最終埋立量) ÷ (有価物量 + 廃棄物排出量)

ゼロ・エミッション化

2005年度からリサイクル率95%以上を目標に取り組んでおります。

| | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 目標値 | 90.0 | 95.0 | 95.0 | 95.0 | 95.0 |
| 実績 | 94.2 | 96.3 | 95.7 | 96.2 | 97.3 |
| 達成率(%) | 104.7 | 101.4 | 100.7 | 101.3 | 102.4 |

日本プラスチック工業株式会社 本社工場

③ 有害化学物質の削減

PRTR法対象物質の排出量・移動量

本社工場

(kg)

| 政令No. | 物質名称 | 排出量 | | | | 移動量 | |
|-------|----------|-----|-------|----|------|-----|------|
| | | 大気 | 公共用水域 | 土壌 | 自社埋立 | 下水道 | 場外移動 |
| 230 | 鉛及びその化合物 | 2.0 | — | — | — | — | 5.0 |

8 環境コミュニケーション

① 地域の皆様との交流

本社工場

- 名 称 小牧山(史跡公園)美化活動に参加
日 付 平成21年4月18日
- 名 称 東田中地区盆踊りに参加および寄付
日 付 平成21年8月
- 名 称 東田中地区秋祭りに参加および寄付
日 付 平成21年10月

② 地域美化活動

本社工場

- 名 称 環境月間本社工場周辺清掃活動
日 付 平成21年6月17日
参加人数 19名
- 名 称 小牧市「ごみ散乱防止市民行動の日」小牧勤労センター周辺清掃活動
日 付 平成21年10月3日
参加人数 2名
- 名 称 年末本社工場周辺清掃活動
日 付 平成21年12月29日
参加人数 32名

日本プラスチック工業株式会社 本社工場

9 サイトデータ～本社・本社工場

▶ INPUT

| 項目 | 単位 | 使用量 | 熱量換算GJ | |
|-------|--------|-----------------|---------|---------|
| エネルギー | 電気 | 万kWh | 1,075 | 103,461 |
| | 石炭コークス | t | — | — |
| | 都市ガス | 千m ³ | 31 | 1,362 |
| | 灯油 | kℓ | 0.2 | 8 |
| | ガソリン | kℓ | 15.5 | 535 |
| | 重油 | kℓ | — | — |
| | LPG | t | 8.2 | 418 |
| | 他 | | — | — |
| 合計 | | — | 105,785 | |

| | | |
|------|-----------------|------|
| 水使用量 | 万m ³ | 10.8 |
|------|-----------------|------|

▶ OUTPUT

| | | |
|---------------------|-------------------|-------|
| CO ₂ 排出量 | t-CO ₂ | 5,018 |
|---------------------|-------------------|-------|

2009年6月18日実施

| 排水先 | 項目 | 単位 | 排水口名:パイプ工場 | | 排水口名:加工工場 | |
|-------|----------|------|------------|-------|-----------|------|
| | | | 規制値 | 測定値 | 規制値 | 測定値 |
| 公共用水域 | pH | — | 5.8~8.6 | 7.7 | 5.8~8.6 | 7.8 |
| | BOD | mg/ℓ | 160 | 1.6 | 160 | 1.8 |
| | COD | mg/ℓ | 160 | <0.5 | 160 | 1.0 |
| | SS | mg/ℓ | 200 | 2.0 | 200 | 5.0 |
| | N-ヘキサソ | mg/ℓ | 5 | <0.5 | 5 | <0.5 |
| | 鉛及びその化合物 | mg/ℓ | 0.1 | <0.02 | 0.1 | — |
| | 亜鉛 | mg/ℓ | 0.1 | <0.01 | 0.1 | — |
| | COD総量規制値 | kg/日 | — | — | — | — |
| | 窒素総量規制値 | kg/日 | — | — | — | — |
| | りん総量規制値 | kg/日 | — | — | — | — |
| 下水道 | pH | — | — | — | — | — |
| | BOD | mg/ℓ | — | — | — | — |
| | COD | mg/ℓ | — | — | — | — |
| | SS | mg/ℓ | — | — | — | — |

| | | |
|--------|---|-----|
| 廃棄物排出量 | t | 8.3 |
| 埋立比率 | % | 0.7 |